

令和4年 新年ご挨拶 代表取締役社長 戸沼 淳



明けましておめでとうございます。昨年も、一昨年に引き続いてコロナ対策に振り回された年になりました。ウチや新しい生活様式の取り組みなどもあって、秋以降はいくらか落ち着きを見せており、業界の行事や少人数の食事などの機会も少しずつ戻ってきているところです。海外では、バクソ という変異株が猛威を振るっており、日本でも年末から増加傾向

にあり、今後の動向が心配されています。建設業では労働災害防止に際し リスクアセスメントという手法があります。これは発生確率、危険度をもとに評価して対策を決めていくものです。また、各人の安全意識、ちょっとした気遣いも労働災害防止には大きく役立ちます。このコロナ禍も特別扱いせず、労働災害のリスクの一つとして捉え、独りよがりにならずに、適切な対策を実践していただきたいと思います。

自然災害については、2月の福島県沖地震、夏の静岡県熱海市の土石流、佐賀県の集中豪雨被害など昨年も大きな被害が出ております。建設業には災害防止の エッセンシャルワーカーとしての役目に加えて、不特定多数を相手にする仕事ではないという利点においては他業界からは「羨ましい」という言葉や景気上昇の期待を受けております。観光や消費だけでなくしっかり自分達の仕事をこなすことが、経済対策につながるものと思っています。

当社の今年度の現状については、完工高は昨年度の7割強に終わりそうですが、減収を見込んでおりましたので、年度当初に建てた目標、利益については達成できそうな状況にきています。ただ、労働災害についてはJV、下請工事も含めて、5件の労災事故が発生しております。リフォーム工事は、元請け並みの安全管理ができるという強みで、受注の範囲を広げていますので、安全意識をもう一段高め、現場での通勤、直営作業員やリフォーム工事以外にも気を配っていただきたいと思っています。災害を防ぐには、現場内外でのコミュニケーションと現場作業の状況把握にあると思います。時間のやりくりも大変かと思いますが、報告を聞くだけや想像、思い込みをするのではなく、自分の目と耳、自分の言葉で現場に携わっていただきたいと思っています。



今年寅年です。相場の格言では「寅は千里を走る」といわれ、動きのある年とされています。コロナ禍の中、今までの常識が覆され、時代にあった新しい常識が探索され始める1年になるの



安全と衛生



向春号

戸沼岩崎建設株式会社 発行

令和4年2月15日

<http://www.tonuma.com/>

第250号



ではないかと思えます。皆様も過去の慣例、思い込みなどにトラわれず、現在の業務の改善、新しいチャレンジなど動き始める年として意識していただければと思います。

(令和4年1月6日朝礼 社長挨拶から)

北海道の労働災害発生状況 (令和3年1月1日~12月31日)

令和3年1年間の北海道の労働災害発生状況<速報値>が発表されました。全産業の労働災害は、7,834件で前年同時期に比べ907件増加しました。死亡労働災害は9件増加しました。建設業の労働災害は、928件で前年同時期に比べ60件増加しました。土木工事業は36件増え346件、建築工事業も55件増え366件でした。

建設業における事故の型別では、多い順に「墜落・転落」284件、「転倒」110件、「はさまれ、巻き込まれ」106件、「飛来・落下」82件、「切れ、こすれ」75件、「動作の反動、無理な動作」62件、コロナウイルス感染症に係る「その他」40件、交通事故による労働災害が28件ありました。

北海道冬季ゼロ災運動

冬季において、凍結等による転倒、自動車のスリップや吹雪等による視界不良時の交通事故、除雪作業に伴う墜落災害、屋内での内燃機関等の使用による一酸化中毒が発生しています。冬季特有の労働災害を防止しましょう。

◎転倒災害防止対策

敷地内の安全通路を指定し、段差や凸凹、突起物、つなぎ目等の躓く原因の改善及び滑りやすい場所における融雪剤や砂の散布、滑り止めの設置、滑り難い靴の着用等。



◎除雪作業に伴う墜落災害防止対策

◎交通労働災害防止対策

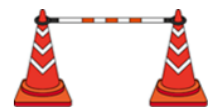
冬道を運転する場合は、路面状況や天候に合わせた速度で走行し、十分な車間距離を確保及び早めブレーキを励行し、危険を予測しながら運転するとともに、早め出発を心がけ、余裕をもった安全運転に努めること。

◎一酸化炭素中毒防止対策

建設業年度末労働災害防止強調月間(3/1~31)

年度末の3月は、公共工事を含む多くの工事が完工時期を迎え、さまざまな作業が輻輳して繁忙度が増すなど、工事関係者の注意力が低下しやすい時期です。そのため、労働災害のリスク低減に向けた店社及び現場でのリスクアセスメントとその結果に基づく対策の確実な実施と、新型コロナウイルス感染症の予防措置もしなければなりません。ポイントは下記の通りです。

1. 経営トップ等による年度末現場点検の実施。
2. 墜落・転落災害の防止。
3. 建設機械・クレーン等災害の防止。
4. 倒壊・崩壊災害の防止。
5. 飛来・落下による公衆災害の防止。
6. 交通労働災害の防止。
7. 火災・爆発等災害の防止。
8. 転倒災害の防止。
9. 不安全行動による災害の防止。
10. 安全衛生教育の推進。
11. 職業性疾病の防止。
12. 化学物質に関するリスクアセスメントの実施。
13. 現場におけるメンタルヘルス対策の推進。
14. 健康障害防止対策の充実。



令和3年度後期 ISO内部監査

当社はISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO45001(労働安全衛生)の要求事項に従って必要なプロセス及び相互作用を含む統合マネジメントシステムを職員が監査員を務め、年2回内部監査を行っています。職員同士が互いの施工活動を監査することでISO規格への理解を深めると共に自らの施工活動で不十分な点を見つけ出すのに役立っています。

今回は小砂子トンネル、紋別川、釜谷漁港、静狩漁港、川口地先、亀田港、伏木戸、山根、千歳の土木9現場と、土木、建築、オフィスの3部門、管理責任者の内部監査と進み、マネジメントレビューを経て、日々の業務にフィードバックされます。



川口地先その2緊急予防山工事(函館市)



伏木土地区 予防山工事(江差町)